

令和7年度 自己評価書

学校名	和歌山市立貴志中学校
校長氏名	中村 清司
作成日	令和8年2月26日

1 教育目標

豊かな心情と思いやりの心をもち、自ら考え、ねばり強く実践する生徒を育てる。

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた学習環境づくり 生徒一人一人を大切に授業づくり 全国学調生徒質問紙において「わかる授業」を90%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめの早期発見を徹底的に行う。 全国学調生徒質問紙において「いじめは、どんな理由があってもいけない事だと思う」の100%回答を目指す。…① 「学校が楽しい」の90%以上を目指す。…② 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活において、常に自らの健康と他者の安全を守る意識を育む。 全国学調生徒質問紙において、①「朝食を毎日食べる」②「学校の決まりが守られている」をそれぞれ95%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学調生徒質問紙において、①「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」で、県・国の調査結果に近づける。 ②「教育内容等を保護者に適切に伝えている」を80%以上にする。
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導及びより良い学習環境づくり 基礎基本の確実な定着 主体的対話的で深い学びに向けた授業改善 家庭学習の定着 不登校生徒対応 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な授業「道徳」の充実 人権教育の推進 いじめのない集団づくり 規範意識の向上 情報モラルの充実 生徒会活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の確立 体力の向上 危機回避能力の育成 心と体の成長に伴う「性教育」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「貴志の教育を高める会」活動の充実 家庭、地域と連携充実 学校運営協議会と連携充実 共育コミュニティと連携充実 出前授業「未来スクール」の実施
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> 学習形態の工夫 授業改善の推進 学生ボランティアの充実 朝学朝読の徹底 家庭学習の推進 ステップルーム[SSR]の学習環境充実 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会を中心とした月初めの「挨拶運動」に取り組んだ。 いじめアンケート実施(3回)と教育相談で未然防止、早期発見、早期対応に取り組んだ。 「いじめなくそうデー」を毎月第1水曜日の朝学活で実施した。 道徳の授業や毎学期に実施の人権特設授業に取り組み、継続指導を心がけた。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育行事の充実を図ると共に計画的に体力向上を目指す。 適宜に情報モラル教室を行うことで危機回避能力を育成する。 様々な感染防止対策の一環として、昼休憩の生徒会委員の放送で啓発に努めた。 生徒への朝食をとる習慣の定着と基本的生活習慣を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年便り、保健便り、貴志中の輝き、学級通信等による保護者や地域への情報発信。 貴志の教育を高める会や学校運営協議会を通じて地域と連携を密にする。 体育大会や文化発表会など学校行事に地域の方々を招待し交流を深めた。 1年生「未来スクール」の実施
取組の結果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業(3名の教員)を実施し、現職教育等で意見交換。 指標における数値が、昨年度よりも少し広がった。改善点を改めて考え直す必要がある。 学びあい授業づくりの改善は、個人から全体のものなるよう今後も進めていきたい。 指標アンケートの結果 ⇒国語:73.1%・数学:62.5% 	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラル教室では、関係機関との協力を得ながら取り組めた。 県警によるキッズサポートにより規範意識をさらに高めた。 月に1度の教育相談部会を開きSC,SSWの意見も参考にした。SCやSSWの役割も大きい。 指標アンケート①結果⇒95.9% 指標アンケート②結果⇒93.1% 	<ul style="list-style-type: none"> 性教育は、2年目の実施となった。各学年ごとにテーマをもって行い、人の命の大切さを主に学習した。 「朝食を毎日食べる」指標に、少し及ばなかった。生徒や保護者にもさらに啓発が必要である。 指標アンケート①結果⇒90.2% 指標アンケート②結果⇒94.5% 	<ul style="list-style-type: none"> 「ラインスクール」で保護者宛の配布物をその都度活用できた。 小学校、子ども会との交流及び連携をスムーズに図ることができたが、学校運営協議会実施がスムーズに実施できなかった。 指標アンケート①結果⇒73.0%(県:73.5% 国:75.3%) 指標アンケート②結果⇒83.3%
次年度に向けての改善方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲向上のため、ICT機器をさらに取り入れ、1人も取り残すことのないよう授業改善学力向上に取り組む。 読解力や表現力をつけるため、読書にも力を入れ、自ら考えて答えを出せる力を育てていきたい。 SSR(ステップルーム)登校生徒への更なる配慮を行い、不登校生徒をなくすため、室内での指導内容も考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権・同和教育推進のため、内容や方法を工夫して改善を図りながら進めたい。職員の研修も深めたい。 生徒会主催「挨拶運動」を更に活性化させ豊かな心の育成に繋げる。 いじめ問題を深刻に捉え、アンケート調査のみならず、日頃から子どもの様子を見守り、いじめのない学校学級づくりに向けて、さらなる改善を進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣と朝食を毎日食べる習慣をつけ、上記指標の95%を目標に取り組んでいきたい。 性教育をはじめ、「いのち」についてもっと子ども達に考えさせたい。体の発達、心の教育を充実させたい。 SNS上のトラブルが依然として発生している。啓発を行いながら、事前の防止と早期発見に努め、自らの危機回避能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ラインスクール」の効果的活用と、紙媒体の連絡を少なくする。 生徒の地域活動への参加を更に拡大できるように、自治会などと協力する体制を進めたい。 地域の子どもたちを育てるため共育コミュニティの活動を更に周知活用できるよう取り組む。

3 その他の課題

令和8年度から、全校給食がスタートする。アレルギー対策と対応については、学校、家庭、市教育委員会が連携して共通認識を持ちながら進めるとともに、子どもたちが楽しい給食時間になるようにしていきたい。子どもたちにとっては、小学校以来の給食時間になるが、中学校としては初めての試みでもあり、給食指導自体も初の指導という教職員も多いと考えられる。慣れるまでは、しばらく時間がかかると思われるが、アレルギー対策、衛生面、給食当番指導や事故等に十分注意や配慮してスタートが切れたらと考えている。